

平成22年10月市議会定例会一般質問発言通告書（発言順）

◎ 代表質問

五人会
6番 馬越宏芳

1. 2期目の市政について

市長は、先の市長選挙において様々な公約を掲げられました。その公約のうち、3つの柱について市長のお考えを伺います。

- 1) 人を育てる住みよいまちづくりについて
- 2) 元気で笑顔あふれる住みよいまちづくりについて
- 3) 環境にやさしい住みよいまちづくりについて

井原星和会
13番 井口 勇

1. 瀧本市長の2期目に向けての市政方針について

市長は選挙公約で6つの政策の柱を掲げられておりますが、その内の3件に絞り市長の考えを伺います。

- 1) 活気あふれる住みよいまちづくりについて
- 2) 安全・安心の住みよいまちづくりについて
- 3) みんなでつくる住みよいまちづくりについて

◎ 個人質問

12番 佐藤 豊

1. 市長選における公約について

- 1) 子ども医療費の無料化の拡大や予防接種の費用の助成として「いばらっ子元気応援事業」を展開とありますが、具体的な目標年次について伺います。また、受診率向上を図るため、検診（健診）の自己負担の無料化を進め、受診率の向上を目指すとありますが、もう少し詳しい具体的な無料化についての説明と受診率の目標値について伺います。
- 2) 新たな事業・雇用の創出を促進するため「いばら地場産業育成支援事業」を展開しますとありますが、具体的な支援方法について伺います。
- 3) 緊急通報や行政情報を市内全戸へ配信するシステムを構築しますとありますが、現状の障害者や高齢者世帯へ貸与している緊急通報システムとの違いと料金の有・無について伺います。

2. 地域福祉計画策定について

平成12年、社会福祉事業法の改正で社会福祉法に新たに規定された地域福祉計画の策定が、平成15年以降、各自治体で徐々に策定されていますが、現在、自治体の半数以上が未策定であり、本市も未策定の現状にあります。要因として「計画を作りなさい」という規定でなく、市町村の自主性に任せられていること、また、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画、障害者福祉計画等が既にできており、その計画に沿った運用で十分との考えのようですが、昨今の100歳以上の高齢者の所在不明問題や孤独死、また、うつ病や児童虐待、不登校、そしてDV（ドメスティック・バイオレンス）などの問題が増加の一途をたどっています。行政からの縦割りの一方的な福祉計画での対応でなく、市民の多くの声を集約し地域住民が活動に参加していくために協働の視点での福祉分野の総合的な計画をつくられることが望まれています。そうしたことから、本市としても早い時点で積極的に地域福祉計画の策定に向けた取り組みが必要と思いますが市長のお考えを伺います。

3. 不育治療の助成制度について

子どもを持ちたいが、流産や死産を繰り返す不育症の方がおられます。不育症の原因は人によって違いますが、適正な検査と治療で85%の患者が出産にたどり着くといわれています。しかし、検査や治療には多額の費用が必要となります。本市としては、平成13年7月より不妊治療の助成制度を導入しています。市内在住で市税等の滞納がない方を対象に1回20万円、6回まで120万円を限度に助成されます。その結果、現在まで42人の赤ちゃんが誕生されています。本市としても更なる少子化対策の一環として不育治療への助成を考えてはと思いますが、市長のお考えを伺います。

4. 地上デジタル放送移行対策について

1) 2011年7月24日にアナログ放送が終了し、地デジ化に完全移行されます。現在、アナログ放送でテレビを視聴している家庭においてはデジタルテレビや専用のチューナーを購入することになります。また、井原放送のCATVを利用すれば視聴できますが、それぞれに経費が掛かります。年金暮らし家庭や所得の少ない家庭では大きな負担が伴います。国でも移行に伴う補助金や助成金の制度があるように謳っていますが、知らない家庭も多いのではと感じます。そうした制度について市としても積極的に周知することが必要と考えますが今後の取り組みについて伺います。また、地デジ移行に関する市民への相談体制についてあわせて伺います。

2) 地デジ移行に伴い大量の廃品アナログテレビの不法投棄が懸念されます。市としても不法投棄の防止策や円滑なりサイクル回収が進むような体制を整えるべきと考えますが、現状と今後の対策について伺います。

3番 上野 安 是

1. 高齢者福祉サービスの充実について

1) ひとり暮らしの高齢者への生活支援等の福祉サービスをどのように進められているか。また市独自の施策を考えておられるか伺う。

2) 介護保険法による認定を外れた高齢者への福祉サービスの対応はどのように進めているか。また市独自の施策を考えておられるか伺う。

1. 水道料金の格差是正について

美星地区の水道料金は他地区に比べ、いまだに高い水準にある。
水道料金の体系を市内で統一すべきと考えるが市長の考えを伺う。

1. 子どもの医療費無料制度を通院も早急に中学校卒業までに拡大を

市長は、先の市長選で「子どもの医療費の無料化を拡大します」と選挙公報で市民にお約束をし、ある地方紙のインタビューで「子どもの医療費の全額無料化も、4年間のうちには中学卒業まで拡大したい」と答えておられます。

多くの市民は、通院も今すぐにでも中学卒業まで無料にしてほしい、と切望されています。私は、これまで入院・通院とも中学校卒業まで無料にと提言してきました。「4年間のうちには」と気の遠くなるようなことではなく、来年度から通院も中学校卒業まで無料にするよう決断してはどうか。

2. 住宅リフォーム補助制度の創設を

住宅リフォームは、地域の業者を支援し、大きな経済波及効果があると全国的に注目されています。おとなり兵庫県の明石市では、総額1600万円の補助で1億3000万円のリフォームが行われ、これによって波及的に生まれる市内での効果額は、1億7500万円で約1.1倍の波及効果があったと計算されています。

住宅リフォームは、大工、左官、畳、内・外装、電気、ガラスなど地域を支えて頑張っておられる多くの職人さんが関わる仕事です。これらの人々が潤えば地域の商店にも大きく波及します。是非住宅リフォームへの補助制度を創設してはどうか。

3. 太陽光発電装置設置に対する助成の更なる充実を

CO2削減と自然エネルギー利用の観点から、太陽光発電について、国、県ともに大変力を入れて推進しています。井原市でも四季が丘での新築住宅に対する補助に続いて、新たに市内全域で助成を行っています。

ただ、市として本腰を入れて太陽光発電装置を普及させるためには、四季が丘

のように新築時のみ1Kw10万円、上限50万円とまででなくても、市内全域に対する現在の助成を更に充実させるべきだと考えますがどうですか。

4. 井原・芳井・美星地区の方言を後世に伝えるため「方言辞典」の作成を

現在、この地方でも方言をだんだん使わなくなっています。だからこそ、井原・芳井・美星地区で、昔使っていた方言、現在も使っている方言にどんなものがあったのか、また、あるのかを後世に伝える必要性を痛感します。

お年寄りに聞き取りをするなどのほか、様々な方法で方言を掘り起こし、3地区の方言をまとめ「井原地方の方言辞典」（仮称）を作成してはどうですか。

5. 地上デジタル放送に対応するための助成制度の創設を

2011年7月24日には、アナログ放送が終了し、地上デジタル（地デジ）放送に完全移行します。市内の方々のこれへの準備は整っているのでしょうか。普及率の全国平均は2010年3月時点で83.8%とされています。井原市の普及率はどのくらいでしょうか。また、準備ができてない世帯はどういう状況の世帯なのでしょうお尋ねいたします。

ある自治体では、市民税非課税世帯で地デジ機器を買った人に助成しています。地デジ難民を出さないために、井原市でも助成制度の創設をしてはどうですか。

6. 安全・安心を阻害する歩道の改修・整備を

市内の歩道で、一部が車道のほうに傾いていたり、高くなったり低くなったりと波打っているところが見受けられます。車椅子の方とか足の不自由な方から、このような歩道は「安全に通行できず、大変危険だ」という声が寄せられています。

道路の構造上の問題もありますが、このような安全・安心を阻害する歩道の改修・整備を最大限緊急に行うべきだと考えますがどうですか。

5番 西田久志

1. 公共下水道事業の進捗状況及び合併処理浄化槽の普及状況について

現在も工事が進んでいる井原市街地の公共下水道事業及び芳井町の特定環境保全公共下水道事業の進捗状況と今後の計画について伺います。

あわせて、合併処理浄化槽の普及状況及び今後の計画について伺います。

1. 市長選挙の総括について

この度、市長は有効投票の66%の支持を得て再選されました。誠実な人柄と堅実な行政手腕が評価されたものと思われます。

第6次総合計画と選挙公約・マニフェストの着実な実施が井原市民の将来を左右します。34%の批判票も含めて、市長は今回の選挙をどのように総括されていますか伺います。

2. サル、イノシシ等の被害の抜本的対策を

この件は今まで多くの議員が質問されてきましたが、被害は広がるばかりで、改善されたとは思えません。

被害を受けた農家は被害金額よりも丹精こめて作った農作物が台無しになり、精神的に参ってしまいます。農家の方のやりがいや生きがいを無くしてしまうような精神的被害は深刻な問題であります。

中山間地では集落の荒廃に拍車をかける一因になっています。今後の対応策について伺います。

2番 藤原浩司

1. 地域包括支援センターについて

高齢者のためのセンターの実態及び、高齢者の状態、状況の把握について高齢者の情報をどれくらい判っているか伺う。

2. 乳幼児の所在の把握について

住民票を移さないままで転居するなどし、安否や所在が確認できない乳幼児が本市におられるのか伺う。

3. 指定ごみ袋、収集体制について

指定ごみ袋の種類について市民の要望である10リットル袋の作製について、また収集体制の拡充について伺う。

4. 井原鉄道について

- 1) 赤字続きの井原線の経営状況について、黒字へむけて今後の展望について伺う。
- 2) 市職員の井原線の利用状況について伺う。

5. 人材の育成について

具体的にどのような人材の育成を行うのか伺う。

4番 簀戸利昭

1. 市内福祉施設の充実について

- 1) 重度障害（児）者の相談窓口等の現状について伺う。
- 2) 日中一時支援事業について伺う。
- 3) 今後の施設整備計画について伺う。

7番 三輪順治

1. 井原市民病院のあり方について

- ① 4年前の最大の公約であった「井原市民病院の抜本的刷新」とは、何を意味し、その時点で「市民病院」を具体的にどうしようとされていたのか伺う。
- ② 一期目4年間の成果と公約に対する自己評価について伺う。
- ③ 二期目の公約では「岡山大学付属病院へ粘り強く医師派遣について協力をお願いする」とあるが、今後4年間で、市民病院の常勤医師数を何人増やしているのか伺う。
- ④ 市民からの要望が多い「産科の再開」、「小児科の充実」、「夜間の救急患者対応」の整備に対する基本的な考え方について伺う。

2. 地域経済活性化策について

①市長は平成23年度公約として、「いばら地場産業育成支援事業」として、3つの新規補助事業を掲げているが、それぞれの中身（補助要件、補助率、補助額）について伺う。

②新規の企業誘致について、今後4年間で、どう取り組んでいくのか伺う。

③「いばら産業創造センター（仮称）」は、どこで、誰が、どのような機能を持って行うのか、また、そこでの「ワンストップ窓口機能」の具体的内容についてあわせて伺う。

3. 市民生活の安心・安全、協働のまちづくり事業について

①4年間で行う重要政策として挙げられている「緊急通報システム」について、その機能や提供する情報の中身、端末機の単価、設置費を含んだ総事業費、全戸配置の方法、また、いつから始めるのか等具体的な事業計画について伺う。

②協働のまちづくりに関して、新たに「いばらパートナーシップ・プロジェクト事業」を展開するとあるが、その具体的な事業イメージについて伺う。

③協働のまちづくり市民推進室事業の展開に関し、「自治の主役は市民」であること、及び「地域主権時代」の自治体のあり方の両面から考えると、「協働」の定義及び今後の協働事業の進め方について再考する必要があると思うが、上記の点とあわせ見解を伺う。

4. 今後の国民健康保険税及び「健康寿命日本一」について

①本年8月末までの、窓口における相談件数とその内容について、また、今年度の収納率はどの程度であると見込んでいるのか、最近の5年間の状況とあわせて伺う。

②来年度以降の国民健康保険税の市民負担税額について、市民や議会に対して、いつ、どのような方法で周知・説明されるかについて伺う。

③特定健診や各種がん検診の現状の受診者数と受診率、また、これら検診等を公費負担ですぐに行うとのことであるが、無料化後の受診者数と必要な事業費及

びこの施策による医療費の削減額ほどの程度と見込まれているのかについて伺う。

④「健康寿命日本一」とは、これが達成された場合、井原市がどういう状態になっているのかについて伺う。

1 番 坊 野 公 治

1. ごみの収集体系の見直しについて

先般行われたアンケート調査の結果を受けて、ごみ袋の細分化と収集体系の見直しについて伺う。

2. 老朽化した公民館の改築について

市内の老朽化した公民館の改築計画と複合施設を含めた生涯学習の場所としての今後の方針について伺う。